

(様式2(1))

事業所名 グループホームまんでん加古川

作成日: 令和4年 1月 18日

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	モニタリングが十分には行なえていない。	モニタリングのシステムを確立する。	計画作成担当者を中心にモニタリングを介護計画見直しのプロセスに組み込み、職員に周知し活用する。	3ヶ月
2	10	運営推進会議が資料配布になり家族に運営に関して直接意見を聞く機会が減っている。今は面会についての要望が多い。施設での入居者の様子を伝えるための写真入り手紙を送るが不定期である。ブログを更新しているが浸透していない。	面会制限の中でも施設での様子が家族に伝わるよう工夫する。	写真を3~4か月に1回送っていたが、2か月ごとを目標にする。ブログのアクセス方法を説明する。ビデオ通話で利用者と家族が対話できる機会を設ける。	4ヶ月
3	4	運営推進会議の構成員として本人、知見を有する人の参加ができていない。家族に運営推進会議の内容が周知できていない。	運営推進会議が再開できた際には知見者に参加していただけるよう、外部や他事業所の方々と関係性を築くことができる。家族に運営推進会議について周知する。	感染症の流行が終息すれば、挨拶に出向き情報交換と交流を図っていきたい。家族に対しては運営推進会議の資料を送付し、事業所の状況を伝えるとともに、取り組みについての理解を促したい。	12ヶ月
4	49	コロナ禍により面会や外出が制限されている。	面会や外出ができないことのストレスを緩和する。	屋内でできるレクリエーションの創意工夫、敷地内で外の空気や日光を感じる機会をもつことを継続する。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。